

株式会社エフアシスト



代表取締役
藤倉 修一 氏

●企業の概要

企業名：株式会社エフアシスト
代表者：代表取締役 藤倉 修一
住所：宮城県仙台市若林区保春院前丁6-6
設立年：2011年
業種：プロテイン製品の企画販売
資本金：5百万円
従業員数：8名

●事業の概要

当社は、障がい者就労支援B型施設において障がい者が手作りで作るプロテインパウダーを加工し、「社会貢献型プロテイン」として全国に販売している。原料を海外から直接仕入れ、自社で製品設計、製造、出荷まで一貫体制を構築することで1,000種類以上の原料管理と取引先100社近くの在庫管理を実施し、企業特性に応じた小ロットや少量多品種のプロテイン製造など細かな依頼に柔軟に対応している。



本社



工場外観

障がいを持つ方を対等な事業パートナーとし、「ソーシャルプロテイン」の製造を通して社会・地域に貢献することを目指す



充填作業風景



展示会



「HIGH CLEAR ウェイトダウン」

●受賞の理由

当社はプロテイン製造にかかる海外からの原材料の直接仕入れ、製品設計（栄養計算）、製造、出荷まで一貫体制を構築し、1,000種類以上の原料管理を行っているだけでなく顧客のうち100社近くの在庫管理も実施することにより、顧客の特性に合わせた細かな依頼に柔軟に対応し少量多品種の製品を製造できるのが特色である。

また、就労支援B型施設において障がい者が丁寧に手作りで作るプロテインパウダーを「ソーシャルプロテイン」と定義し、消費者が社会貢献型プロテインとして購入・消費することで社会に貢献できるという満足感を高めるものとして提供している。

当社は、障がいを持っている方々を対等な事業パートナーとし、工場で働く障がい者の賃金改善・働きがい創出にも取り組み、今後の目標として、プロテイン工場での工賃（給料）をB型就労支援平均工賃の全国平均を大きく上回る7万円/月の達成を目指している。また、製品を最後まで製造し完成させ、多くの消費者にその製品を見てもらうことで、やりがいと働きがいの価値提供にも取り組んでいる。

首都圏の食品展示会に出展し、障がい者が一生懸命作るハンドメイドプロテインであることや購入する方々が世の中に貢献できる価値を伝え続けた結果、SDGsの普及の後押しもあり、現在は大手企業からも発注を受けるようになっている。

当社の福祉施設工場、本部の土地は自治体から無償で借り受けているが、福祉事業者が作成したプロテインをふるさと納税品として販売し、ふるさと納税として地域へ還元される仕組みを構築することにより地域にも貢献している。

当社はプロテイン製造において一貫体制を構築し顧客の特性に合わせた柔軟な対応を行うとともに、障がい者を対等な事業パートナーとして社会貢献型プロテインを製造販売することで障がい者の工賃アップや働きがいの価値提供に取り組み、ふるさと納税を通じた行政への還元も目指すなど、事業を通じて広く社会・地域に貢献している企業である。